

## パブリックコメント手続の実施結果及び意見への対応（案）について

### 1 案件名

（仮称）次期平塚市総合計画（1次素案）

### 2 案件の概要

「平塚市総合計画」は、本市の市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる計画であり、市民が幸せに暮らせるまちを目指し、まちづくりの指針の実現に向けて、市民と市で共有していく最上位の計画です。

「（仮称）次期平塚市総合計画」は、2070年までの人口推移を意識した上で、高齢者数がピークを迎える2040年頃の人口構造が社会経済環境に与える影響を踏まえるとともに、市制施行100周年を展望して、市民が幸せに暮らすまちの実現を目指し、令和6年度（2024年度）から令和13年度（2031年度）までの8年間の新たな計画として策定するものです。

このたび、「（仮称）次期平塚市総合計画（1次素案）」がまとまり、市民からの意見を募集しました。

### 3 募集概要

#### （1）意見の募集期間

令和5年10月17日（火）から令和5年11月15日（水）まで

#### （2）意見の提出方法

郵送、ファクス、直接持参、電子メール、電子申請システム

### 4 実施結果

個人から	30人	51件
団体から	11団体	43件
合計	41人・団体	94件

### 5 意見への対応（案） 意見の詳細は、別紙を御参照ください。

項目	説明	件数
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの	41
	意見の趣旨が計画案等に沿ったもの	
イ：参考	事業・取組を推進する上で参考とするもの	53
ウ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	0
合計		94

以上

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
1	p.4	【序論】第1章「はじめに」 1 総合計画の策定趣旨	総合計画の目的、なぜ必要なのかを、まず、市民に分かりやすく示す必要があると思います。 具体的には、「はじめに」の冒頭で、総合計画の基本理念と、市としての強い決意表明、将来展望を掲げてみてはどうでしょう。先の見えない困難な時代でも、これなら一人ひとりが安全に守られ自分らしく心豊かに暮らされたい、この町を安心して行政に任せられると、市民が納得してこの計画に理解を示せるような、市の基本姿勢を大きく打ち出すことが大切ではないでしょうか。 平塚市自治基本条例(以下、自治基本条例)の存在をご存じない市民も多いでしょうから、基本理念として、同条例附則の「私たちのまち平塚は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、先人の英知と努力により、平和で活力に満ちた住みよいまちとして発展してきました。しかしながら、地方分権の進展や少子高齢・人口減少社会の到来など、成長と拡大を基調とした社会構造そのものが転換期を迎えた今日、私たち市民には、恒久平和の実現と基本的人権の尊重を基に、先人が守り育てた文化や自然などの地域財産をいかにしながら、市政への参加と議会及び行政との協働により、市民が幸せに暮らすことのできる新たなまちづくりが求められています。」を基本理念として掲げていただけたらと思います。 同様に、同第8条「まちづくりの指針」も、「実現に向けて」とだけ言及するにとどめず、条文の「市は、次に掲げる指針により、市民が幸せに暮らすまちを目指します。(1) 世界の人々と相互理解を深め、多様な文化が共生し、人々が平和に共存するまちにします。(2) 豊かな人間性と文化をはぐくみ、基本的人権を擁護するまちにします。(3) 互いに支え合い、誰もが安心して、安全に暮らすまちにします。(4) 自然環境と都市基盤が調和し、自然と人が共生するまちにします。(5) 産業を培い、活力とにぎわいのあるまちにします。」を、市が果たすべき役割、基本姿勢として大きく掲げたらよいのではと思います。	御意見を踏まえ、次期総合計画の冒頭(早い段階)で市の目指す姿を明確にするため、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加しました。また、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加しました。	反映
2	p.24	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (1)基本計画の体系	「(1)基本計画の体系」の中に、市民が幸せに暮らすまち 人口減少社会への対応 DXとGX の項目が立てられているが、これらは「体系」というよりはコンセプト、理念、目標に類するものであるように思う。 「市民が幸せに暮らすまち」は、条例の理念であり、継続的に最重要な理念であると思う。包括的な理念と考えられる「未来につながる私たちが主役のひらつか」について、図の中で示すだけでなく、本文にも明記した方が良いと思う。	御意見を踏まえ、(1)のタイトルを「基本計画の目指す姿と体系」に修正するとともに、p.25の本文中に「私たちが主役のひらつかを未来につなげるよう、基本計画を推進」する旨を記載しました。また、「未来につながる私たちが主役のひらつか」が、市民ワークショップで導き出されたものであることも記載しました。	反映
3	p.24	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (1)基本計画の体系	上述の、自治基本条例の附則に「恒久平和の実現と基本的人権の尊重を基に」、同第8条の指針(2)に「豊かな人間性と文化をはぐくみ、基本的人権を擁護するまちにします」とあるように、平和意識と自己尊重意識の高揚、基本的人権の擁護は、さまざまなまちづくり、市民自治の基礎、土台だと思っておりますが、図にはどこにも見当たりません。 図の「市民が幸せに暮らすまち」の下に、「恒久平和の実現に努め、基本的人権を擁護するまち」を入れていただきたいと思っております。 さらに、「未来につながる私たちが主役のひらつか」の下に、「男女平等・共同参画社会、多文化共生社会の実現」を入れるか、基本計画図の「重点戦略」(重点方針としたほうが良いと思います)の最初に、「男女平等・共同参画、多文化共生のまちづくり」を掲げて、いただきたいと思っております。いずれもあらゆる分野のさまざまな施策の大前提、基礎となる体制づくりです。(「重点戦略」(方針)は全部で5つに) 「男女平等・共同参画」については、近年、性別に捉われず個性を認め合う社会の実現を提唱されることが増えていますが、世界経済フォーラム(WEF)が今年6月に発表した世界男女格差報告書によると、日本はジェンダーギャップ指数が146カ国中125位と、いまだ社会的性差の解消に程遠い状況にあります。まだまだ「男女平等・共同参画」と掲げ続けなければならない段階と考えます。 「多文化共生」については、分野別施策の分野3に「共生、文化芸術、スポーツ」とありますが、「共生」は分野別施策のなかにとどめるのではなく、重点「戦略」の最初に「男女平等・共同参画」とともに位置づけるべきと考えます。 ところで、p.21で示された章立てからすると、本ページの基本計画図は、「分野別施策」より「重点戦略」が先、この図では順番が逆ではないでしょうか。	自治基本条例の前文に記載された認識を踏まえ、第8条の市民が幸せに暮らすまちや5つのまちづくりの指針が導かれていると考えます。 「恒久平和の実現に努め、基本的人権を擁護するまち」の追加に関する御意見ですが、当該内容は、まちづくりの指針1及び2に包含されている内容であり、まちづくりの指針と同レベルの内容を記載することになるため、修正後のp.5やp.24～p.25で一体的に表現しています。 重点戦略は、人口減少への対応として効果が高い取組をまとめたもので、p.16の人口減少社会等への対応で示した課題の解決に向けた取組を戦略として位置づけています。 なお、御意見を踏まえ、次期総合計画の冒頭(早い段階)で市の目指す姿を明確にするため、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加しました。また、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加しました。 重点戦略・分野別施策の順番については、重点戦略を先に記載することで、総花計画と言われる総合計画に戦略性を持たせることができ、本市の特長である子育てに強いまち、これを支える産業(雇用・所得)がしっかりしているまちを示すことができると考えます。 なお、御意見を踏まえ、p.24及びp.26にある計画構成図の重点戦略と分野別施策の位置を入れ替え、下から上に矢印をのぼすよう図を修正しました。	反映
4	p.25	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (1)基本計画の体系	「平塚が平塚を潤している」というのは、どういうことなのかよくわかりませんでした。	市民ワークショップで導き出されたフレーズで、 ・若者、子育て世代、高齢者、障がい者など、誰もが働く機会がある ・仕事と趣味が市内で完結している ・食と再生可能エネルギーを自給自足している など、域内循環や地産地消が、地域経済の活性化や暮らしの豊かさにつながっている姿が共有されました。 なお、御意見を踏まえ、「平塚が平塚を潤している(域内循環)」に修正しました。	反映
5	p.26	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (1)基本計画の体系	p.24と同じく、基本計画図は、「分野別施策 5つの分野、27の施策」と、「4つの重点戦略 12の具体的な戦略」は、順序が逆ではないでしょうか。	重点戦略・分野別施策の順番については、重点戦略を先に記載することで、総花計画と言われる総合計画に戦略性を持たせることができ、本市の特長である子育てに強いまち、これを支える産業(雇用・所得)がしっかりしているまちを示すことができると考えます。 なお、御意見を踏まえ、p.24及びp.26にある計画構成図の重点戦略と分野別施策の位置を入れ替え、下から上に矢印をのぼすよう図を修正しました。	反映

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
6	p.28	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (3)重点戦略	p.24の繰り返しになりますが、最初に、「男女平等・共同参画、多文化共生のまちづくり」を入れて、項目を5つにしてください。	総合計画は、市民が幸せに暮らすまちを目指し、まちづくりの指針の実現に向けて推進するものです。御意見の内容は、まちづくりの指針1及び2に包含される内容であり、修正後のp.5やp.24～p.25で一体的に表現しています。 重点戦略は、人口減少への対応として効果が高い取組をまとめたもので、p.16の人口減少社会等への対応で示した課題の解決に向けた取組を戦略として位置づけています。 なお、御意見を踏まえ、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加するとともに、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加し、市の目指す姿を明確にしました。	反映
7	p.31	【基本計画】第2章「重点戦略」 表紙	重点「戦略」3「高齢者の想いに寄り添う環境づくり」の(3)の、「権利擁護を推進する」は、高齢者だけでなく、すべての分野、「重点戦略」に関わる大枠の柱、基本方針だと思います。	総合計画は、市民が幸せに暮らすまちを目指し、まちづくりの指針の実現に向けて推進するものです。御意見の内容は、まちづくりの指針1及び2に包含される内容であり、修正後のp.5やp.24～p.25で一体的に表現しています。 重点戦略は、人口減少への対応として効果が高い取組をまとめたもので、p.16の人口減少社会等への対応で示した課題の解決に向けた取組を戦略として位置づけています。次期総合計画では、終活、認知症、8050問題などの高齢化の進行に伴う社会問題を踏まえ、高齢者の権利擁護を重点戦略として位置づけています。 なお、御意見を踏まえ、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加するとともに、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加し、市の目指す姿を明確にしました。	反映
8	p.31	【基本計画】第2章「重点戦略」 表紙	重点戦略に関する説明書き冒頭に「希望する人数の子どもを持つことができない要因」が記載されているのは、唐突な印象を与えるため、再考を要望する。	御意見を踏まえ、重点戦略の冒頭を次のとおり修正しました。 「冒頭」人口減少社会においては、少子化と高齢化の進行に伴って、様々な課題が生じるため、重点戦略では、人口減少社会への対応として効果が高い取組を取りまとめます。少子化の進行を緩和するためには、希望する人数の子どもを持つことができるよう、(以下、略)	反映
9	p.32	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」	基本的な方向性に「妊娠・出産を希望する方が、その願いを実現できるよう必要な支援を行う」と記載することを要望する。望まない予期せぬ妊娠・出産した人への適切な支援も必要とされる現状がある。一方的な施策と取られないような表現を要望する。	御意見のとおり、修正しました。	反映
10	p.32	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」	「重点戦略1 子どもを育む環境づくり」とありますが、「子どもを産む」ことに重点が置かれ過ぎているように思いました。「夫婦」という語句は、「パートナー」としたほうがよいのではないのでしょうか。	重点戦略は、人口減少社会への対応として効果が高い取組を取りまとめています。 人口減少については、進行を緩和していく施策(積極戦略)と適応していくための施策(調整戦略)を同時に進める必要があります。 人口減少の進行を緩和していく施策では、結婚・出産が重要な要素になりますが、個人の自由を制限することなく、結婚・出産の希望を叶える姿勢が重要と考えます。このことから、「重点戦略1 子どもを育む環境づくり」では、希望する人数の子どもを持つことができるよう「結婚・妊娠・出産に関する取組」「子育てのゆとりに関する取組」「子どもの成長に関する取組」をまとめています。 また、数値目標「育児・子育ては、夫婦同じくらい分担していると回答した割合」については、男女共同参画に関する市民意識調査の調査項目となっており、夫婦の固定的な性別役割分担意識や性別で偏っている部分の解消に向けた施策の効果を測っていくことから、このままの表記とします。一方、重点戦略1-(1)の主な取組「夫婦で働きながら子育てができる環境づくり」は、保育所等に関する取組をまとめており、夫婦に限らないことから、「夫婦で」を削除して、「働きながら子育てできる環境づくり」に修正しました。	反映
11	p.32	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」	数値目標を「小学校や中学校の職業講話を年4回開催する」「公務員やパート、フリーランス、ケーキ屋さんから歯医者の方の受付の方など多種多様な職業の方を呼び、良い話だけでなく失業してしまった方などの話を聞く機会を設定する」等として、児童・生徒が将来の夢や、やりたいことを持てるようになるための具体的な施策を入れるよう要望する。	数値目標「将来の夢ややりたいことがあると答えた児童・生徒の割合」は、御提案いただいた数値目標を包含するものと考えます。なお、重点戦略1-(3)の主な取組「児童・生徒の社会参画意識の醸成」の具体的な取組については、実施計画に定めていきたいと考えます。	反映
12	p.33	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」 (1)希望する妊娠・出産が叶う	主な取組に記載のある「将来の妊娠に向けた支援」が分かりにくい。具体的に出産にはいくらかかるのか、妊娠・出産のための行政施策にはどのような支援策があるのか分かるセミナーの開催、YouTube動画を作成するなど、具体的な取組として総合計画に盛り込むことを要望する。	御意見を踏まえ、主な取組を「将来の妊娠に向けた必要な情報提供や支援」に修正し、事業を推進します。	反映
13	p.33	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」 (1)希望する妊娠・出産が叶う	主な取組に記載のある「子育て環境を整備する企業への支援数」が分かりにくい。例えば、育休を取っている割合の高い企業が増えるよう行政側から呼びかけをし、達成できた企業を平塚市ホームページやSNSで紹介するなど具体的なKPIを要望する。	御意見を踏まえ、重点戦略1-(1)のKPIを「正規雇用促進補助件数【累計】」に変更しました。また、仕事と家庭の両立を図る取組を進める企業を市ホームページ等で紹介し、他の企業が取り組むきっかけとしていくことを目指して、重点戦略1-(2)のKPIに「子育て支援に取り組む企業の紹介回数【累計】」を設定しています。	反映

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
14	p.35	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」 (3)子どもが希望を持って成長する	これからますます生きることが困難な時代となってきます。「子どもが希望を持って成長する」には、まず、自分を大切に思う気持ち、基本的な人権意識を育むことを、基本的な方向性の柱として盛り込んでください。そして、主な取組に、自分らしく心豊かに生き抜くための知識を身につけ、実際の発言・行動にできる力を培えるような啓発やワークショップなどの取組を入れていただきたいと思います。希望を持っていない子ども、学校に通わない子どものための居場所づくり、相談窓口の拡充もお願いします。	御意見の「自分を大切に思う気持ち、基本的な人権意識を育むこと」については、重点戦略1-(3)の基本的な方向性の「健やかな心身」の育成や分野別施策1- の取組方針「道徳教育や人権教育」の充実に含まれており、御意見のとおり自己肯定感や思いやりの心を育むことを目指します。 基本計画は、基本的な方向性を定めているため、具体的な取組は記載していませんが、御意見いただいた内容と同じ方向を目指しているものと考えます。御意見も参考に、重点戦略1-(3)の主な取組にある、「子どもの可能性を引き出す個別最適で協働的な学びの充実」や「悩みや課題に寄り添う相談・支援体制の強化」に取り組みます。	反映
15	p.36	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略2「活気あふれる産業づくり」	知的対流についての説明を追記することを要望する。 (例)国土交通省が地域の魅力ある「しごと」の内発的な創出・発展に向けて、自治体や地域の様々な主体が連携して知恵やアイデアを出し合い、実際の活動に昇華させていく場「知的対流拠点」、及び各活動主体が新たな活動に価値を見出し、継続的な活動が行われる地域づくり「知的対流拠点づくり」を進めています。	御意見を踏まえ、注釈を追加いたしました。	反映
16	p.43	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略3「高齢者の想いに寄り添う環境づくり」 (3)権利擁護を推進する	重点戦略3-(3)「権利擁護を推進する」は、p.31の繰り返しになりますが、高齢者だけでなく、すべての分野、「重点戦略」に関わる大枠の柱、基本方針、最重要課題だと思います。	総合計画は、市民が幸せに暮らすまちを目指し、まちづくりの指針の実現に向けて推進するものです。御意見の内容は、まちづくりの指針1及び2に包含される内容であり、修正後のp.5やp.24～p.25で一体的に表現しています。 重点戦略は、人口減少への対応として効果が高い取組をまとめたもので、p.16の人口減少社会等への対応で示した課題の解決に向けた取組を戦略として位置づけています。次期総合計画では、終活、認知症、8050問題などの高齢化の進行に伴う社会問題を踏まえ、高齢者の権利擁護を重点戦略として位置づけています。 なお、御意見を踏まえ、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加するとともに、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加し、市の目指す姿を明確にしました。	反映
17	p.50	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1- 「子育てにやさしいまちづくりを推進する」	現状を記載する欄に「フードバンクや子ども食堂を必要とする、家庭、子どもが増えている」といった記述を追記するよう要望する。	基本計画は基本的な方向性を定めており、分野別施策1- の現状「子どもの抱える課題が多様化する」中には、「貧困」も含んでいます。取組方針に記載のとおり「様々な課題を抱える世帯やヤングケアラーなどの子どもを支援」していきます。	反映
18	p.50	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1- 「子育てにやさしいまちづくりを推進する」	課題に記載のある人口減少と保育士の確保の因果関係が不明であり、少子化との整合がつく指標を説明・追加するよう要望する。	成果指標「保育所等の申込者に対する受入可能人数の割合」は、保育ニーズを踏まえて、適切な保育サービスを提供することを目的として設定しています。具体的には、少子化の進行による保育ニーズの減少と共働き世帯の増加による保育ニーズの増加を見極めることを意図しています。施設整備や保育士確保等を要因とする提供量がニーズを満たしているかを判断する基準となります。	反映
19	p.51	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1- 「子育てにやさしいまちづくりを推進する」	成果指標に以下の内容の追加してはどうか。 ・ネウボラや産後ケアを利用する件数 ・ファミリーサポートセンターの利用件数 ・虐待相談・通報に対応した件数 ・保育所等における重大事故発生件数ゼロを目指す指標	成果指標「子育てに関する相談件数」は、注釈にあるとおり「こども家庭センター」と「こども発達支援室くれよん」における相談を計上しています。「こども家庭センター」は「ネウボラルームはぐくみ」と「こども家庭総合支援拠点」を統合する施設の名称で、子育てに関する相談件数には、様々な悩みや課題を抱える子育て世帯からの幅広い相談を計上していきます。 また、御意見のとおり「保育所等における安全対策の強化」の重要性を認識しており、保育室内へのカメラの設置を進めている所です。さらに、睡眠時の事故防止などの環境整備を進めており、成果指標への位置づけより先に、取組を進めていきたいと考えています。	反映
20	p.52	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1- 「子どもの学びを充実する」	コロナ禍以降、不登校の子が増えている現状を入れるよう要望する。	不登校の児童生徒への支援は重要であると考えています。 分野別施策1- では、現状「子どもの抱える困難さや教育的ニーズが多様化・複雑化している」とし、様々な困難を抱える子ども達の中に不登校の児童生徒も含まれております。素案に記載のとおり、「課題を抱える子どもに寄り添い、教育機会を確保するため、「相談・支援体制を強化」していきます。	反映
21	p.53	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1- 「子どもの学びを充実する」	成果指標において「オンライン授業の実施回数」を入れることを要望する。	子どもの学びの充実に向けては、オンラインと対面の両面から取組を進めており、「これまで実践してきた教育活動とICTを活用した教育活動のベストミックスを図る」ことを目指していきます。オンラインと対面の両面から進めていく成果を計る指標として「授業の内容がよく分かると回答した児童・生徒の割合」を設定しています。	反映

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
22	p.54	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1 - 「教育環境を充実する」	現状を記載する欄に、いじめについても言及することを要望する。	基本計画は基本的な方向性を定めており、分野別施策1 - 及び1 - の現状、課題、取組方針には、いじめに関する現状や対策を含んでいます。子どもたちの課題に寄り添い、相談・支援体制を強化するとともに、道徳教育や人権教育を充実します。	反映
23	p.55	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1 - 「教育環境を充実する」	取組方針を記載する欄について、奨学金制度を利用し子どもたちが安心して学べる体制をつくることを入れるべき。経済格差が大きくなっている現状を踏まえ、教育環境を充実させるために何より重要な取組と考える。	御意見のとおり、「子どもたちが安心して学べる体制」の重要性を認識しており、取組方針に「経済的な理由により、就学が困難な家庭を援助します。」を位置づけ、就学援助などに取り組んでいきます。現在、これに加え、奨学金返済支援に関する取組を検討しており、取組の具体化を進めたいと考えています。	反映
24	p.55	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策1 - 「教育環境を充実する」	成果指標に以下の内容を追加してはどうか。 ・就学援助支援策 ・ブロック塀の修繕、耐震化件数	取組方針に「経済的な理由により、就学が困難な家庭を援助します。」を位置づけ、就学が困難な家庭への就学援助などに取り組んでいます。現在、これに加え、奨学金返済支援に関する取組を検討しており、成果指標への位置づけより先に、取組の具体化を進めたいと考えています。また、ブロック塀の修繕、耐震化件数については、分野別施策4 - において「旧耐震基準による建物の耐震化」を取組方針に位置づけています。	反映
25	p.66	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「平和意識の普及啓発や人権尊重を推進する」	「平和意識の普及啓発や人権尊重の推進」と「多文化共生の推進」は、まちづくりの大前提となるものなので、繰り返しになりますが、p.24の「市民が幸せに暮らすまち」の下に、「恒久平和の実現に努め、基本的人権を擁護するまち」を、さらに、「未来につなげる私たちが主役のひらつか」の下に、「男女平等・共同参画社会、多文化共生社会の実現」と入れるか、基本計画図の「重点戦略」(「戦略」は別のよりふさわしい語句に)の最初に、「男女平等・共同参画、多文化共生のまちづくり」を盛り込むことこそが、市民への大きな意識啓発の一つになると考えますがいかがでしょう。また、盛り込んでおいたほうが、この分野別施策との整合性がとれると思います。	総合計画は、市民が幸せに暮らすまちを目指し、まちづくりの指針の実現に向けて推進するものです。御意見の内容は、まちづくりの指針1及び2に包含される内容であり、修正後のp.5やp.24～p.25で一体的に表現しています。重点戦略は、人口減少への対応として効果が高い取組をまとめたもので、p.16の人口減少社会等への対応で整理した内容を戦略として位置づけています。なお、御意見を踏まえ、【序論】第1章「はじめに」の「2 総合計画の概要」に、総合計画の目指す姿(市民が幸せに暮らすまち)と、まちづくりの指針を追加するとともに、【序論】第1章「はじめに」の「1 総合計画の策定趣旨」の下欄に、自治基本条例の前文を追加し、市の目指す姿を明確にしました。	反映
26	p.67	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「平和意識の普及啓発や人権尊重を推進する」	取組方針を記載する欄について、以下の内容を追加してはどうか。 ・平塚市パートナーシップ宣誓制度が一般的に知られるようにしていく ・パートナーからの暴力に困る人がないよう相談体制を充実させる	基本計画は、基本的な方向性を定めており、分野別施策3 - の基本方針「性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するための環境づくりを進めます」「様々な人権問題に関する相談・支援体制の充実を図ります」としています。御意見の意図と方向性を同じくしているものと考えます。	反映
27	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	現状にも書かれている通り、現在平塚ではトップスポーツの試合が開催されています。しかし、今後もプロスポーツ団体が安定的にこの地域にとどまってくれるかは定かではありません。課題に「生涯にわたり多様なスポーツ・レクリエーションに親しめる場、機会が必要です。」とあるように、今後は「行うスポーツ」だけでなく、「見るスポーツ」を充実させることも、地域の持続的な発展のためには必要であると考えています。「見るスポーツ」を充実させることで、地域住民が郷土愛を育めるだけでなく、この地域に想いを寄せる関係人口の増加も見込めます。また「見るスポーツ」を軸とした街づくりには、各地で成功事例もあり、経済効果をもたらす可能性も秘めております。プロスポーツ団体が存在するという恵まれた地域資源をどう活用していくべきか。行政、企業、各種地域団体が同じ志のもと話し合う場があれば、未来に向け、次世代に大きな宝物を残せるのではないのでしょうか。そこで、「地域との連携を通じた『見るスポーツ』を軸としたまちづくりの取組」などを施策に検討されてみてはいかがでしょうか。	本市では「行うスポーツ」、「見るスポーツ」の充実を目指しています。分野別施策3 - の現状のとおり、本市でトップスポーツが開催されている特徴を活かし、取組方針のとおり、「交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会」の充実を目指します。その具体的な取組である湘南パルマーレを始めとしたプロスポーツの試合を見ることのできるドリームパスポート事業により、平塚市内の小学生にその機会を提供するなど、今後も関係団体と連携した取組を推進していきます。	反映
28	p.76	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「災害に強いまちづくりを推進する」	p.76及びp.77に以下(下線部分)のとおり追加記載することを提案いたします。 現状 p.76 ・近年、気候変動の影響による自然災害が激甚化・頻発化し、浸水被害の発生や熱中症による死亡者数や救急搬送者数の増加傾向が続いています。 課題 p.76 ・自助・共助・公助の役割をそれぞれの立場で担い、防災・減災への対応力を高めるとともに熱中症対策を進める必要があります。 取組方針 p.77 ・市内に指定暑熱避難施設を増やし、同施設や災害時の避難所に指定されている体育館等の公共施設には、停電時でも運転可能なエアコンの設置に努めます。	本市における熱中症の救急搬送者は、過去5年間で約70件程度で横ばいとなっています。引き続き、分野別施策1 - 「教育環境を充実する」の取組方針に記載した「学校安全対策の推進」をはじめとした熱中症対策に取り組んでまいります。なお、具体的な対応策を御提案いただきましたので、個別計画や実施計画を進める上で、参考にさせていただきます。	反映

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
29	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	1. 農業・自然を活かした地域活性化を一段と進展させるためには現行の体験農園の拡大に加え、クラインガルテン(滞在型市民農園)開設が必須であり、その実現に向けた具体的プランを地域住民とともに目的を共有し、検討・策定して頂きたい。 (クラインガルテン構想の目的) ・耕作放棄地の拡大に歯止めをかけ、減少を図る ・市街地住民に農業・自然を楽しむ・親しむ、時・場所を提供、地域への愛着を育み、将来の定住人口確保を図る(若者のUターン促進、空き家等への移住等) ・来園者等への直売・情報発信により地域の農産物・6次産品をアピールして「きさわブランド」を生み出し・確立し、農業振興を図る 2. 前項を実現するためには、農業エリア(体験農園・クラインガルテン開設地域)への進入路建設等インフラ整備が先行する必要がある。既に種々の検討が重ねられてきたところであり、是非とも早期の着手をお願いしたい。 3. 農業エリアに加え、情報発信・直売(物販)エリアの開設が必要と考えるが、そのために必要な店舗・建物の建設に関わる基準の柔軟な運用をお願いしたい。 4. 吉沢地区活性化に向けての具体的取組の「成果指標」を導入して頂きたい。	御意見の吉沢(ゆるぎ)地区の活性化に向け、地区の現況、市内外のニーズ、及び地元協議会からのご要望を踏まえ、地域資源である農業や里山を活用した取組を進めています。今後も、地域住民や研究機関等と連携し、吉沢(ゆるぎ)地区の活性化につながる中・長期的な方向性などについて、協議していきます。 また、御意見を踏まえ、分野別施策4 - の成果指標に「西部地区における地区まちづくり協議会との意見交換の実施回数」を設定するとともに、意見交換を重ねる中で、具体的取組の検討を進めたいと考えます。	反映
30	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	平塚駅周辺地区は、建物や都市基盤の老朽化も進み、再整備や再開発が急務となっております。中心市街地の役割を担う機能の再生やまちの魅力アップに官民一体となった取組、行政主導による誘導・施策が重要と考えます。	中心市街地の機能に関しては、重点戦略4 - (2)の主な取組に「平塚駅周辺地区における多機能化」を位置づけています。分野別施策4 - 「官民が連携したまちづくり」、分野別施策5 - 「活性化を担う団体や商店街団体等の活動を支援」の各取組方針のもと、御意見を踏まえ、具体的取組の検討を進めたいと考えます。	反映
31	p.84	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「交通の利便性・快適性を高める」	現状で「平塚駅周辺や通勤通学の時間帯を中心に、交通集中による混雑が発生しています。」とあるが、課題や取組方針に関連する項目がないので、記載いただきたい。	御意見の現状に関連する課題や取組方針は、分野別施策4 - において「幹線道路の交差点や歩道などを整備します。」を取組方針として、その課題を「交通の円滑化と住環境の向上に加え、歩行者の安全を確保する必要があります。」としています。	反映
32	p.85	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「交通の利便性・快適性を高める」	取組方針に「バス停の待合環境を改善しバリアフリー化する」を入れるべき。	御意見のバリアフリー化は、平塚市バリアフリー化基本構想に基づき、平坦な歩道の維持、視覚障がい者誘導ブロックの改修、道路附属施設の補修などバス停やバス停周辺に限らず進めていることから、分野別施策4 - において「子育て世代や障がい者などの歩行者が、安全に通行できる道路を整備します。」を取組方針としています。 なお、分野別施策4 - において、誰もが利用しやすい公共交通環境の整備として、交通結節点となるバス停に、上屋などの整備や、バス停と自転車アクセスできる環境を整備する取組方針としています。 御意見の意図と方向性を同じくしているものと考えます。	反映
33	p.87	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「快適な生活基盤の形成を推進する」	成果指標に「公共下水の耐震化率」を入れてはどうか。	御意見を踏まえ、公共下水道の耐震化は、防災・減災対策の効果を測るものとして、重点戦略4 - (1)のKPIを「公共下水道管線の耐震化進捗率」に修正しました。	反映
34	p.90	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「産業の活性化を促進する」	現状を記載する欄に「エネルギーや物価が高騰しています」とあるが「エネルギー価格や物価が高騰しています」に変えるべき。	御意見のとおり、修正しました。	反映
35	p.90	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「産業の活性化を促進する」	現在、すべての産業において人手不足、担い手不足、後継者不足と言われており、5 - 雇用の確保にも記載がありますが、産業の活性化としても課題とし、対策を講じていただきたい。各産業の事業所数も減少しており、創業・起業の支援や廃業や市外移転を防ぐ対策など事業継続に対する施策の強化をお願いします。	御意見のとおり、人手不足等は、産業全般の大きな課題として認識しており、人口減少社会への対応を踏まえ、分野別施策5 - で雇用や働き方などのヒトに着目した施策として位置づけています。また、重点戦略2 - (3)に基づき、産業施策全般において、本市で操業しやすい環境づくりを推進していきます。	反映
36	p.91	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「産業の活性化を促進する」	現状を記載する欄にある「エネルギーや物価が高騰しています」に対する取組を追加すべき。	エネルギーや物価の高騰に対応するためには、複数の取組が必要であり、分野別施策5 - の取組方針を総合的に推進することで、急激な社会の変化に適応できる経営力が備わるものと考えます。	反映

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
37	p.96	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	現状のところ、イベント施設として具体的に競輪場を明記しているが、総合公園内の競技場、体育館等の施設もプロスポーツが行われ、近県もしくは全国から平塚市に人が集まることを考えると同じように明記すべきと考える。 課題、取組方針でも競輪場と明確に場所を特定していることに疑問を感じ、他の施設も同様に課題、取組方針の明記をするか、なぜ競輪、競輪場が特別なのかを現状でもっと触れるべき。 競輪事業が市の収入に与えている効果などを なお、取組方針で支援との明記されているところは、積極的のように感じられないので、連携、協業の方が良いのでは？ あくまでの私見ですので、よろしく願いいたします。	御意見のとおり、本市には多数のイベント施設が存在しています。総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる方向性を示すものであるため、御指摘のとおり、各施設ごとに現状・課題・取組方針を記載することは馴染まないと考えます。競輪場も一つの観光資源と捉えていることから、他の施設との並列となるよう、次のとおり現状・課題・取組方針を修正しました。 「現状」平塚を代表するイベントの七夕まつりのほか、豊かな自然環境や総合公園、ビーチパーク、競輪場など多様な観光資源があり、市内外から多くの人々が訪れ、にぎわっています。 「課題」多様な観光資源の魅力をより高め、効果的に活用する必要があります。 「取組方針」地域資源を磨き上げるとともに、これを活かした観光プログラムの開発に加え、情報発信に取り組みます。  なお、施設ごとの個別・具体的な取組内容については、各施設所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 「支援」という語句の使い方については、全体調整の中で整理しました。 (「支援」は、連携・協業のほか、補助や情報提供も含めた幅広い意味合いで使用しています。)	反映
38	p.96	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	競輪場の魅力アップや有効活用は重要です。外にも市総合公園や平塚海岸、湘南平など多くの観光資源も磨き上げを含めた表現、総合的な取組も必要かと思えます。	御意見を踏まえ、次のとおり取組方針を修正し、一連の流れを通して、観光施策を総合的に進めていきます。 「取組方針」地域資源を磨き上げるとともに、これを活かした観光プログラムの開発に加え、情報発信に取り組みます。	反映
39	p.96	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	4 - まちづくりの拠点形成を推進か、4 快適な生活基盤の形成を推進にも該当するかと思いますが、5 - 商業・観光を振興の商業振興において、駅周辺の店舗数並びに商業売り場面積の減少は大きな課題であると思えます。さらに各ゾーニングによる計画が急務であり、駅に隣接するような区画が住宅だけの利用となると中心商店街としての機能が失われ、都市として魅力がなくなり、生活しやすい環境でなくなることが危惧されます。	平塚駅周辺地区では、商業・業務(オフィスなど)、文化、交流、居住などの多機能化を進める考えであり、分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」の取組方針において「平塚駅周辺に人が集まり居心地が良い、官民が連携したまちづくりを進めます」と記載するとともに、成果指標に「平塚駅周辺における共同建て替えの相談件数」を位置づけています。 なお、平塚駅周辺地区の多機能化の考えを踏まえ、現在、平塚駅周辺地区将来構想の策定を進めており、その実現のために、店舗の誘導施策や再開発等の機運の醸成に必要な支援制度などをとりまとめるアクションプランの策定も進めています。	反映
40	p.97	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	成果指標にある「魅力化実施店舗数」が分かりにくい。補足や注釈が必要ではないか。	御意見を踏まえ、注釈を追加いたしました。	反映
41	p.103	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「循環型社会の形成を推進する」	取組方針に以下の内容を追加すべき。 ・市民に対するリサイクルプラザの見学などによる学習機会の増加 ・し尿・ごみ処理の過程を学ぶ機会をつくり増やす ・環境面に配慮し、かつ、経済合理性の高いごみ処理をする	学習機会の増加に関する御意見を踏まえ、取組方針の1つ目に「ごみの排出抑制や分別の徹底、資源再生に対する市民や事業者の理解を深める機会を充実」する旨を追記しました。 環境配慮・経済合理性の高いごみ処理に関する御意見は、今後の施設整備・改修や収集品目・体制を見直す際の参考とさせていただきます。	反映
42	-	計画全般	パブリックコメントの実施時期を含め、計画策定全体のスケジュールがおかしい(3年程度をかけて策定している他自治体もある)。 重点戦略の表現がふわっとしており、1次素案として市民に公表するものとしては熟度が低い。どのようにして熟度を高めていくのか、2024年度当初予算への反映ができないのではないかと。1次素案であるにもかかわらず、検討中の指標が多いとも感じた。	本市では、市民意識調査・市民ワークショップから策定まで、約1年半をかけて策定しています。目まぐるしく変化する社会経済環境に対応できるよう、また、市長公約を反映できるよう、短期間で策定しています。 本市では、多くの意見を計画に反映できるよう、1次素案という柔らかな段階(成案になる前の段階)で市民意見を募集しています。 より熟度を高めるため、パブリックコメントによる市民の皆様からの意見に加え、総合計画審議会や庁内の策定委員会での議論を踏まえ、市の進むべき方向性を慎重に見極め、次期総合計画に反映しました。各所管課と調整しながら策定作業を進めており、目指す姿や取組方針に沿った予算要求にもつながっていると考えます。 なお、指標の記載程度については、次回以降の策定(パブリックコメントの実施)に当たっての参考意見とさせていただきます。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
43	本計画書の構成図、目次	本計画書の構成図、目次	第2章 重点戦略の「戦略」というのは、あまりふさわしくないように感じます。重点「方針」ではないですか？	国は、人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、活力ある日本社会を維持するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定(戦略という語句を使用)しています。また、国は、地方創生の実現を目指して地方自治体に地方版の総合戦略の策定を求めています。本市では、総合計画と総合戦略を一体的に策定することとしており、総合計画の重点戦略が地方版の総合戦略に当たります。次期総合計画においては、分野別施策から人口減少への対応として効果が高い取組をまとめて重点戦略を導くという考え方にに基づき、「戦略」という語句を用いています。なお、総合計画審議会においても「戦略」という語句の使い方について言及がありましたが、国も(地方版)総合戦略としていること、行政の計画書では度々使われる表現であることから、現在の表現に至っています。	参考
44	本計画書の構成図、目次	本計画書の構成図、目次	重点戦略4「安心・安全で快適なまちづくり」の文言のなかの「安心・安全」はよく使われますが、安全が守られてこそ、安心に暮らせるのでは？ 語句の順番は「安全・安心」のほうが適切なのではと考えますがいかがでしょう。	「安全・安心」は、「災害から市民を守るための安全」や「守られる側の安全」を確保する意図で用いています。一方、「安心・安全」は、災害対応も含めて幅広い分野で用いており、市民の「心理的な安心・安全」や「暮らし(生活)における安心・安全」を確保するために用いることと整理し、次期総合計画では、幅広い意味合いとして後者の「安心・安全」を用いています。	参考
45	p.4	【序論】第1章「はじめに」 1 総合計画の策定趣旨	総合計画作成の基礎となる「人口減少社会」についての認識について 政府は「少子化社会対策基本法」を2003年に制定し、翌年に「少子化社会対策大綱(第一次)」が決定しました。それ以後も政府や財界は「少子化対策」を掲げて推進してきましたが、出生率は減少の一途をたどっています。「少子化」の原因を客観的事実から分析することを避け、原因分析は常に「現象的」です。対策の失敗に対する科学的な検討や反省もありません。政府や財界の「少子化対策」は明らかに失敗しています。このような政府、財界がすすめてきた「少子化対策」の失敗を平塚市が、政府や財界の責任を含め、どのように受け止め、理解しているのか、その点についての記述が必要である。「人口減少社会における対応を本格的に進めること」を計画策定の視点の第一に掲げている以上は、基本的視点をこの記述から始めていただきたい。市民がまず知りたいことはこのことです。	少子化は、戦後の二度にわたるベビーブームなどの波はあるものの、長期的に続いているものです。少子化対策のためには、時代背景を捉え、その要因を分析し、改善していくことが重要と考えています。次期総合計画では、家計における経済的不安や男性の労働時間過多による家事、育児時間の不足を解消する必要があると考え、重点戦略1「子どもを育む環境づくり」で、子育て世代の家計の安定と家事、育児時間の確保に取り組んでいきます。	参考
46	p.21	【基本計画】第2章「重点戦略」 表紙	繰り返しになりますが、「戦略」は、「方針」あるいはよりふさわしい語句と変えたほうが良いように思いますので、以下、本意見書ではとこところ、「戦略」を「 」に入れて記させていただきます。	国は、人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、活力ある日本社会を維持するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定(戦略という語句を使用)しています。また、国は、地方創生の実現を目指して地方自治体に地方版の総合戦略の策定を求めています。本市では、総合計画と総合戦略を一体的に策定することとしており、総合計画の重点戦略が地方版の総合戦略に当たります。次期総合計画においては、分野別施策から人口減少への対応として効果が高い取組をまとめて重点戦略を導くという考え方にに基づき、「戦略」という語句を用いています。なお、総合計画審議会においても「戦略」という語句の使い方について言及がありましたが、国も(地方版)総合戦略としていること、行政の計画書では度々使われる表現であることから、現在の表現に至っています。	参考
47	p.27	【基本計画】第1章「基本計画の概要」 1 基本計画の構成 (2)SDGs(持続可能な開発目標)	根本的な取組方針に対して多大に疑問を感じる。それはSDGsのことである。 脱炭素、持続可能な世の中の実現と喧伝しているが、聞えのよい言葉の裏に大きな利権があることをひた隠し、それをお題目に掲げてまで、市制に取り組ませようとしていることに非常に憤りを感じるとともに、同じ日本人として心底情けなく思う。 では、SDGsのなかが間違っているのか。 これは多々あるが、例えば脱炭素、温暖化防止に向けた二酸化炭素の削減と謳っているが、そもそも炭素がなくなれば我々生物は共存できない。地球温暖化についても、日本の平均気温は100年で0.7度しか上昇しておらず、30年であれば0.2度(人間は感じるができない)。確かにCO2は温暖化の一部ではあるが、全てではない。また、世界のCO2排出量の約45%は中国とアメリカが占めているが、この二大国はCO2削減には取り組まない。日本はわずか3%、根本的に脱炭素に取り組む必要性は全くない。 即ち、平塚市として前提になるような取組みではないため、計画全面撤回を検討すべき。 それよりも「平塚の顔」ともいえる駅前を活性化させることの方がよっぽど急務であることは間違いないだろう。世界の潮流に必要以上に流されず、もっと地に足をつけた施策をお願いしたい。	SDGsは、立場や視点によって、様々な捉え方があると認識しています。SDGs達成へ向けた取組は、脱炭素化だけでなく、人口減少、地域経済の縮小等の地域課題の解決に資するとされており、国もSDGsを原動力とした地方創生を推進しています。このため、次期総合計画の重点戦略でもSDGsの各ゴールとの関連を整理し、市民・企業・団体などと連携しながら、SDGsの達成に向けた取組を進めていく考えです。 なお、脱炭素化については、二酸化炭素排出量の削減などによる地球温暖化対策として全庁的に取り組んでいくほか、製造業が多く立地する本市においては、脱炭素化が進むことによるサプライチェーンの変化への対応として企業等への支援に取り組んでいく考えです。	参考
48	p.31 p.49	【基本計画】第2章「重点戦略」 【基本計画】第3章「分野別施策」	第2章「重点戦略」から第3章「分野別施策」へと、別々に章立てされているので、それぞれの重点戦略が、どの分野別施策へつながっているのか、とても分かりづらいです。 各重点戦略がどの分野別施策につながるのか、該当する施策名あるいは当該ページを重点戦略ページに付記し、各分野別施策ページにも、どの重点戦略を反映したもののかが当該ページを記してください。また、重点戦略と分野別施策の対照一覧表や、各施策にはどの課が担当するのかも記していただけると、「重点戦略」と施策とを見渡すのに役立つのではないかと思います。 あるいは、p.24やp.26の図で示されているので、第2章と第3章に分けずに、重点「戦略」から分野別施策へと続けてひとまとめに記したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。	重点戦略は、複数の分野別施策から人口減少社会への対応として効果が高い取組を複数選定し、それらを体系的に整理しています。 重点戦略と分野別施策のつながりに関する御意見については、実施計画を毎年度更新することとしており、新規事業を位置付けると、対照一覧表に不一致・漏れが生じてしまうため、記載は見送ることとします。また、担当課名は、実施計画で示すこととなります。第2章と第3章は、分けて記載することにより、総花計画と言われる総合計画に戦略性を持たせることができ、本市の特長である子育てに強いまち、これを支える産業(雇用・所得)がしっかりしているまちを示すことができると考えます。	参考



(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
49	p.35	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略1「子どもを育む環境づくり」 (3)子どもが希望を持って成長する	「児童・生徒が相談した件数等」を客観的に測れる指標をKPIに定めることを要望する。	子ども基本法では、国及び地方公共団体は、子ども施策を策定、実施、評価するに当たり、施策の対象となる子どもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるために必要な措置を講ずることを定めています。子どもまんなか社会の実現に向けて、子ども視点に立った施策を推進するため、様々な声を聞く機会を設けていきます。	参考
50	p.44	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略4「安心・安全で快適なまちづくり」	「安心・安全で快適なまちづくり」とありますが、「公共交通の利便性」や「災害に強いまちづくり」に対しても同じ意見です)大神のアウトレットへの道も見えている部分(129号線)は整備されました。工場や倉庫を助成金だしてまで誘致しましたが、横内バス通りは道もせまく歩道もないところがあります。そこに大型車がひっきりなしに通っています。神奈中バスでさえすれ違えない道幅ですよ。アウトレット開店当初は(もうすでに閉散していますが)129号線の渋滞を避けるために、129の旧道か横内の道を通っていましたが、ここを何もいじらずによく誘致したなと思っています。安全でも安心でもないですよ。歩道がないのですから。平塚市は神奈川県内でワースト1位なのではないですか？道路の整備をせずに誘致した結果ではないですか？それとアウトレットの駐車場は朝早い時間に通るとどこかのサービスエリアのような状態です。誘致した工場や倉庫に入る大型車の待機場所になっています。平塚市は神奈川県で1位のお米生産量ですよ。その田んぼをつぶしてアウトレットって。市民はアウトレットよりもおいしい「はるみ」を求めています。	道路整備の要望につきましては、各地域から多数寄せられております。市域全体の状況等を踏まえ順次整備しているところですが、御意見にあります横内バス通り(八幡愛甲線)と129号の旧道(四之宮厚木線)の路線としての整備には、相当の期間を要するものと考えます。 本市では、東海道新幹線新駅誘致による神奈川県の南のゲートとして計画されているツインシティの一翼を担うツインシティ大神地区を、上位計画である「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン(第2次)」に将来都市構造の北の核として位置づけ、まちづくりを推進しています。現在、ツインシティ大神地区では、地区内の道路や公園などの都市基盤整備が進む中、物流施設が順次開業し、今年の春には地区の賑わいの核となる大型商業施設が開業するなどまちの形成が着実に進んでいます。現状を踏まえ、新しい総合計画でも、ツインシティに関しては、分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」において「土地区画整理組合などとの連携による、環境に配慮した住宅街区の整備を進めます」、「(仮称)ツインシティ橋や道路2軸の整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組みます」と記載していますが、今後も、神奈川県や土地区画整理組合などと連携し交通の拠点としての価値や環境共生都市としての価値を高めることにより、さらなるまちの成長を目指していきます。	参考
51	p.44	【基本計画】第2章「重点戦略」 重点戦略4「安心・安全で快適なまちづくり」	以前、湘南海岸公園に道の駅の計画がありましたが、1キロ先の茅ヶ崎に道の駅ができるのに、海岸線から見えない道の駅に誰がわざわざ右折して道の駅に行きますか？あの周りには小学校中学校と4校もある住宅街に駐車場24時間開放した道の駅。大神に誘致した倉庫工場。考えただけで鳥肌がたちます。本当に白紙になってよかったと思っています。そして次は龍城ヶ丘プール跡地に道の駅ですか。高齢者の想いに寄り添うとありますが、高齢者だけではなく市民全員に寄り添ってもらえませんか？砂防林の伐採とかあり得ません。台風や強風の日に134号線に来てみてください。松林のないところは砂で足元が滑ってしまうほど海から砂が飛んできています。市外かにの人の道の駅を造り、砂防林を伐採しそこに住んでいる市民が市民の家が被害を受けるのですが、もちろんあのプールをそのままにすることは、治安の面でもいいとは思っていません。整備してベンチを置く公衆トイレを作るなどの整備で十分ではないですか？今の平塚市は工場倉庫の誘致、アウトレット、道の駅、全て市外県外に目が向いていると思っています。市民にとっては安心でも安全でもまして快適ではないです。	本市は、持続可能な都市として「選ばれるまち・住み続けるまち」を目指し、様々な施策を展開しています。その一環として龍城ヶ丘プール跡地周辺を含めて海辺の総合公園を整備することで、海を眺めながら憩い安らげる場となり、子供連れのご家族や高齢者、若者、また障がいのある方など、市民の誰もが海の魅力を享受できるものと考えています。当該公園計画は、海岸地域に適した既存の樹木をできる限り活用し、快適で見通しが良く、災害にも配慮した、安全で緑豊かな海辺の総合公園とする計画です。当該公園を整備することにより、市民が平塚海岸の景観や自然に触れる機会をこれまで以上に創出することができるものと考えており、自然環境や飛砂等へ配慮しながら進めていきますので、御理解いただきますようお願いいたします。	参考
52	p.67	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「平和意識の普及啓発や人権尊重を推進する」	成果指標に「中高生向けデートDVなどの講座開催回数」を入れるべき。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事業については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 御意見の内容は、事業実施にあたり参考とさせていただきます。	参考
53	p.72	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「生涯学習や文化芸術活動を推進する」	若い世代の文化芸術・伝統文化への関心・興味を高める必要があるとの記載があるが文化芸術とは、何を指しているのか？ スポーツ(サッカーを始め各競技も基本文化だと思う)やコンサートなども文化芸術ではないだろうか？ ひらしん芸術ホールでは、所詮1000人規模のコンサートしか開催出来ない 先日の茅ヶ崎でのサザンのコンサートでは茅ヶ崎市に多大なる経済効果があった様だがサッカー専用の新スタジアムでコンサートを開催すれば、1万人規模のコンサートが開催可能で、それこそ有名どころのコンサートが開催出来るではないだろうか	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事業については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
54	p.72	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「生涯学習や文化芸術活動を推進する」	湘南ベルマーレが新スタジアムの建設を要望しています。湘南ベルマーレが平塚市へ求めている金額は70億円と高額であるが、市街地のオアシスである総合公園をより魅力的なものにするために、平塚市としては是非とも協力していただきたいです。 私個人の意見になりますが、2016年に茅ヶ崎市より転入してきて、身近な場所にプロサッカーチームがある喜びを感じる機会が多いです。小学校のベルマーレ給食、ベルマーレによる巡回指導、各地イベントへの参加、平塚市内の人と話す機会があるときはベルマーレの話題が必ず出ます。 平塚市議会9月定例会では「湘南ベルマーレの対応」について、質疑がありましたが、その際に触れられたのは、建設費用の話が中心で、新スタジアムを建設した場合の経済効果、平塚市全体で見た湘南ベルマーレの経済効果については触れられなかったことが非常に残念でした。 建設費用の比較の話で、平塚市役所本庁舎が145億円に対し、新スタジアムの建設費用が140億円(平塚市への負担は70億円)との話がありました。平塚市民にとって、平塚市役所に行く機会と、総合公園へ行く機会、どちらが多いのでしょうか？また、平塚市役所に行く場合と、総合公園へ行く場合、どちらが市民にとって、「良い機会」になるか考えると、費用だけの比較は議論として浅はかだと思いました。 現在のレモンガススタジアムはJリーグのスタジアム基準を満足しておらず、今後の建設予定をJリーグへ示さなければなりません。もしも、湘南ベルマーレが他市へ新スタジアムを建設した場合、試合による観客の移動がなくなります。平塚駅前の飲食店や、ショッピングモールの経済損失はいくらになるのでしょうか？ 市議会では議論を深めて、総合的に判断して、「湘南ベルマーレが行う取組への支援」を積極的に行っていただきたいです。市民としてできる建設費用の寄付等、手伝えることは何でも行います。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、総合公園内への新スタジアムの設置は、公園機能の低下や市民利用の制限などを招くことから、市民の理解を得ることが困難であるため、受け入れることができません。新スタジアムに関しては、湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考
55	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	湘南ベルマーレは唯一平塚市が成長できる武器だと思います ただ、新スタジアムの件の議事をみると、お互い交渉や調整、相談に至っていないです 提案側が不足している事も多々ある様に思えますが、平塚市も1つの施策として提案を持つてはいかがでしょうか？ ベルマーレがいなくなると平塚市って近隣の茅ヶ崎、藤沢と比べて差別化出来るものはあるのでしょうか？	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考
56	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	レモンガススタジアムの老朽化について課題あり。 屋根無しで雨ざらし、キャバが少ないから動員率ランキングでは上位になっている。 実際、国立競技場で行われていた試合では5万人超え。それだけの集客できる可能性があるのにスタジアムのせいで潰してしまっている。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
57	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚からベルマーレがなくなったら何も残りません。町の誇りであり、市民の楽しみです。正直あの公園の広場なんていらないです。誰もあってもなくても変わりません。あるから遊んでるだけであってスタジアムになったからって不満を持つ人はいません。もう少し考えたほうがいいと思います。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、総合公園内への新スタジアムの設置は、公園機能の低下や市民利用の制限などを招くことから、市民の理解を得ることが困難であるため、受け入れることができません。新スタジアムに関しては、湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考
58	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	まず、スポーツ振興の拠点の一つたるべき平塚競技場は観察するとわかるがひび割れやサビなど老朽化が激しく、改装には労力と金銭が非常にかかることが予想される。 また、市内で最も多く開催されるトップブローグ(及びそれに準ずるブローグ)の試合は湘南ベルマーレの試合であり、この本拠地としても利用されている。 さて、先ほどの情報を元に、ベルマーレの求める設備を増設する改修を行うには新設と同程度の金銭がかかること、また新設の場合は補助金利用が見込めることから実質的金額は大幅に下がることをベルマーレやスタジアムを求める人々は主張してきた。 しかし市長を通してのみ、少なくとも発信されている限りで求める声のある連絡会や不断の会議も一切作らずに、このような前提条件や市側への一方的な要求という少なくとも追いついてきた人間からすれば妄言に等しい言葉によって一方的にベルマーレをごうつくばり呼ばわりするような発言を繰り返し、市内企業に対するネガティブキャンペーンをしているように見受けられる。 これでは市民はプロスポーツに対しての悪感情を高まらせていくし、スポーツに親しむ子供たちが所属するユースチームを抱えるベルマーレに対しての行動としても政策と一致するものではない。 まず、せめて両者の同席する常設検討委員会を立ち上げることはそもそも2023年年始時点で新スタジアムは平塚市に必須であると声をあげたからには必要な努力であると推察する。 また、希望を却下するばかりではなく、市側として「どこにスタジアムを建てて欲しいのか」をこう言った会議を通じて提案しないことには土俵にも立っておらず、他の事業体がスポーツ施設を建てる際にも平塚に立て済む原因になりうる。 さらに、ベルマーレは今後必要ない、出て行って欲しいのならばはっきりそう伝えるべきだ。 どちらつかずの態度が市民のスポーツへの偏見につながるようになる。 なにより、札幌市という前例がある中で同じ失敗を繰り返すことは許されない。今の平塚は札幌市の失敗をなぞり出しているように見える。 ところで、スタジアムの地下に遊水池を作ることで洪水対策に用いているスタジアムは近隣では日産スタジアムなど、他にも数多くある。 また、ベルマーレ側は広域避難地点としての利用も促進したいと申し入れており、避難地点の脆弱な場所や老朽化の激しい場所、平塚市は川に挟まれた地形であり防災上洪水可能性とは切っても切れない関係であるから、そういった洪水対策に使える地域にスタジアムを要請することも重要だ。 これを伝えるためにも、まずはより建設的に意見を常設に交換し合える、市側とスタジアム推進委員会やベルマーレ本体の社員も参加する会議を作るべきだ。  さて、この意見がどのように集計されているかわからないためタイトルを補足すると、「ツインシティ計画等」と「スポーツ進行及び防災」の二つを記述させていただいたわけだが、全体への意見として、いまだ私が生まれる前にあったとされる他都市への優越感のようなものが拭えない計画であると指摘したい。 寒川や厚木などの他都市に対しても、市内企業であるベルマーレに対しても、自分の思い通りに動くだらうという楽観性という傲慢さの中にあるように思う。 そうでないとするのならば、広報が全く足りていないし計画の詰めが不十分だ。 昨今は自治体にもより厳正なコンプライアンスが求められ、市民の目だけでなく国民、世界の目が向けられ続けているし、なによりこの策定によって今後の平塚市の行く末も決まるので、改めての精査をお願いしたく思う。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。 湘南ベルマーレから市と協議を続ける意向が示されていますので、まずは湘南ベルマーレとの間で、今後の方向性をどのように考えていくのかななどを協議していく考えです。	参考
59	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	ベルマーレがいなくなると、平塚市は、衰退します。 新スタジアムは必要かと思えます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
60	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	サッカー専用スタジアムを作る事を前向きに検討していただきたい。 湘南ベルマーレが平塚市から移転してしまったら練習場も移転の可能性が出てきて、ホテルや居酒屋などの飲食店の経済的打撃は大きく、只でさえシャッター街になりつつある商店街が尚活気がなくなると思います。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。	参考
61	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	湘南ベルマーレの新しいスタジアムについて 湘南ベルマーレは平塚の宝だと思っていますが現在使われていれモンガススタジアム平塚の老朽化及び設備面でも設計が古く屋根もなく雨風、雷などが凌げない非常に危険なスタジアムになっています。 また陸上トラックがありサッカー観戦には本当に不向きで平塚には見に行きたくないと言われる程、悪環境なスタジアムになっています。 ですが試合の日は10000人以上のひとが集まり平塚の街が賑やかになっています。 今回色々な報道を見ますが私は平塚市に新しいスタジアムを前向きに検討し協議してほしいと思っています。ベルマーレ側がとか平塚市としてとかケンカしている報道が気になります。 平塚市が考えるところの場所ならとか、こうすればとか、そんな案が聞こえてこないのが気になります。 お隣の茅ヶ崎はサザンとオシャレな町として大人気。辻堂はテラスモールが大人気。藤沢は江ノ島があり観光スポットになっていますが、平塚は？ 平塚で胸を張って言えるのは湘南ベルマーレとサッカーがある街です。平塚から湘南ベルマーレが無くなったら何も誇れるものはありません。 駅前にはシャッター街となり田村に造ったアウトレットは噂にもならず、駅近くのオリンピックも人影は少く、ららぽーともかつての勢いがなくなりました。 新しいスタジアムの構想にはサッカーだけではなくコンサート対応や防災施設等も考えていると報道されていました。コンサート対応のスタジアムなら平塚の新たな魅力になるし絶対街の活気が上がるし若者が集まり人気の街になると思います。お年寄りに優しいとか子育てしやすいとかも大事かと思いますが、その前に平塚の街に魅力がないと始まりません。 他市にベルマーレが流出してしまったら考えると平塚に家を買った身としては残念で仕方ありません。 どうしたら平塚に新しいスタジアムが作れるか平塚市の前向きな意見の公表と建設実現に向け早急に対応、協議をよろしくお願ひいたします。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 湘南ベルマーレから市と協議を続ける意向が示されていますので、まずは湘南ベルマーレとの間で、今後の方向性をどのように考えていくのかななどを協議していく考えです。	参考
62	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	トップスポーツに関する記載がありますが、老朽化しているレモンガススタジアム平塚(平塚競技場)の建て替え等に関する施策が記載されていないのはどうしてでしょうか？取組方針には具体策が書かれていませんが、今後、実施計画策定の中で検討されるという理解でよろしいでしょうか？	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
63	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	1年生の子供がいます、総合公園が近く、ベルマーレの影響で最近サッカーを始め、普段運動しない自分も、子供と一緒にサッカーの練習をするようになりました。 ベルマーレ選手は「平塚市民の分身」と私は感じています。スポーツ振興のため、シン・スタジアム前向きな検討よろしくお願ひします。 J2に落ちたら何も言いません。 湘南ベルマーレに名前が変わってしまっ、平塚市民の認知度はとても低いと感じます。 平塚駅の発車メロディーを、「BIG WAVE」に変更して、湘南ベルマーレの筆頭ホームタウンなのだとことを市民・湘南エリア住民に認知させて下さい。 駅前、馬入、総合公園、などなど、市内各地でのベルマーレイベントを充実させて、レモンガススタジアムが毎回うまるくらいに認知度を上げていただきたいです。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 これからもベルマーレを応援することに変わりはありません。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
64	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	こちらに「トップスポーツの試合が開催されています。」とあります。 取組方針にも「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます。」となっています。 その湘南ベルマーレが他市にという話もちろちら出ています。 それはスタジアムですが、以前市長は「気に入らないから他に作る」と記者会見でおっしゃってましたが、Jリーグのライセンスの問題があるのですが、おわかりですか？ では、今までも減免とかいろいろと助力してくれているのは知っています。レモンガススタジアム平塚を照明や席数などの増設・改修もしていただきましたが、全周の屋根と増席をしてください。ライセンスがはく奪されてしまいます。という話になります。もちろん平塚市全員の方がベルマーレを応援しているわけではないし、市に全額負担してほしいと言っているわけではないですね？ただ、新スタジアムは防災拠点としても計画されています。それでも一部も負担できませんか？寄付やクラウドファンディング、ふるさと納税、いくらかでも方法はあります。場所も総合公園は市民に人気ということも記者会見で話されていました。私も平塚で生まれ育ち総合公園は大好きです。 ただ、これだけ市外県外に目を向けている市長に急に市民が…と言われてもというところが正直なく気持ちです。 どんな工場や倉庫を誘致するよりも経済効果ありませんか？日本中の人々が平塚市に来るんです。そこで魅力ある市のアピールもできます。歴代の市長が必死に守ってきた湘南ベルマーレをどうか大切にしてほしい。 平塚市の誇りと心から思っています。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。 これからもベルマーレを応援することに変わりはありません。	参考
65	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	現状のところ、トップスポーツの試合が開催されています おそらくベルマーレの試合の事を言っていると思われるが今後Jリーグが現状の春秋制から 秋春(実際には夏開幕、初夏閉幕になりそうだが)に移行する可能性が高い それに伴って、現状の陸上競技場での開催となると他のスポーツ団体との日程調整が難しくなる事が懸念されている サッカー専用スタジアムであれば、陸上競技他の日程調整の必要がなくなる こう言う将来の見込みを目論んでいるのか？ 現状の陸上競技場がJの基準を満たしていない事も鑑みるとサッカー専用新スタジアムに消極的な姿勢は将来的な事をきちんと調査、予見が出来て居ないのではないか	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
66	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	私は、永きにわたり平塚市の駅前商店街にて飲食業を営んでおります。 駅前商店街の活気の衰退は、皆様ご存知かと存じますが、人々が集まり、多くの子供たちが商店街を通行し、賑やかと思える日は、七夕まつりや、イベント等の行われる日、また文化ホールにて人気コンサートが行われた時など、年に数回程度と認識しております。 しかしながら、Jリーグは年に20試合ほど行われ、若い世代の家族連れや子どもたち、全国からのサッカーファンにより、公共交通機関の利用も含め、かなりの人出となり、駅前商店街も賑やかになっている現状がございます。 誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の創出を、取組み方針にもあるベルマーレの行う活動支援も含め、身近にあるトッププロスポーツチームを活用し、活気溢れるスポーツを通じたまちづくりを平塚の宝として、次世代に受け継ぐ遺産となるような取り組みが必要だと考えております。Jリーグの規格にそのようなサッカー場問題も考えて頂きたいと思えます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
67	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	商店会として「街の賑わい」はとても大事(大切)なものと考えています。 公園通り西口商店会は、総合公園へ平塚駅(西口)より徒歩で最短で行ける通りにあり、その名がついた経緯があります。 街に賑わいを与えるものは数多くありますが、その中でも湘南ベルマーレの存在、影響は非常に多大であると感じています。 今までの湘南ベルマーレの歴史を考えたときに、平塚後にスポーツ文化を根付かせた功績はとても大きいと思います。 平塚市は、湘南ベルマーレを通してスポーツ文化を根付かせた財産を、市民・団体等と伴にもっと大きく強固なものにしていく使命があると考えます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
68	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	写真添付させてもらいましたが、「ベルマーレ」については、こだけ(分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」)しか書いてありません。 市長側の意見、ベルマーレ側の意見、メディアで、聞いておりますが、お互い大人の対応を願いたいものです。(聞いてる市民として、がっかりです。) 「(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)」も、拝見させていただきました。 人口減少、税収減少と色々拝見させていただきました。 しかし、「新スタジアム」については、一言も、書いてなくて、がっかりしております。 「新スタジアム」が、出来て、どのような効果あるのか？ 本当に、平塚市側は、調べているのか？ 疑問に、思います。 北海道北広島市(日本ハムファイターズ) 沖縄県沖縄市(琉球ゴールデンキングス) スポーツは、違うけど、経済効果は？色々情報収集に、伺ってみては、どうでしょうか？ 間違っても、北海道札幌市(札幌ドーム)みたいな事だけは、ご勘弁願います。 税金で、スタジアムは、できるが、税金で、プロチームは、できません。 色々企画政策課も、大変だと思いますが、よろしく願います。 生まれ育った平塚市 もっと元気になってもらいたいです。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
69	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚市に新スタジアムを！ 年に20回以上最低一万人規模の集客のあるイベントを手放すなんてもったいない。 周辺地区や、幹線道路の飲食店や販売店の集客にも影響必至です。 なんとかベルマーレと折り合いをつけ、新スタジアムを平塚に、ベルマーレを平塚に残してください。 ジェフユナイテッドが市原から移転して、市原には行かなくなりました。 埼玉スタジアムが出来てからは駒場の方には行きません。 厚別もいきません。 同じように平塚に人が来なくなります。 確実に集客が期待できるコンテンツを手放したりしないでください。 新スタジアムを平塚に！ サザンのライブを開催して茅ヶ崎が話題になりました。 新スタジアムで色々なライブができれば、さらに平塚が話題になる。 他との差別化ができる。 平塚のブランディングに新スタジアムを活用してください。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
70	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	防災拠点として、平塚市の未来のシンボルとして、シンスタの建設を要望します。あらゆる補助金を駆使して、スタジアムによる町づくりに乗り出して欲しいです。スタジアムのみでの収益で黒字化が難しくとも、客寄せパンダとしての機能は生み出せるのではないのでしょうか。多くの自治体がランドマークを模索する中、既に存在するベルマーレを利用して「金儲け」ができる機会がある平塚市には、それに挑む知恵も気概もあると信じています。共にがんばりましょう平塚市！	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
71	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚にとってベルマーレは宝ですよ、その事を分かっていますか？ もしベルマーレが平塚から出ていけば、サポーターも出ていってしまうでしょう。しかも、やられっぱなしの茅ヶ崎、藤沢、小田原にですよ。ますます平塚は人気落ちて、人口も減るでしょう。 それを防ぐのに、まずは必須なのはベルマーレ戦士が頑張れるスタジアムでは無いですか？ 新しいメディアに対応した、防災基地にもなって、普段は市民の憩いの場にも、是非ともそんなスタジアムが欲しいんです。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
72	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	<p>平塚市内に、平塚を象徴するような魅力的・多機能的なスポーツスタジアムを建設することを提案する。</p> <p>第1章基本計画に記載のとおり、人口減少が何よりの課題であることは明白な事実である。資料編1(1)に示すとおり、若年層は減り続ける事は止める事ができず、平塚市としての生き残りをかけた他自治体との戦いをしていかなければならない。高齢者に対しては勿論だが、若年層からの指示の取り込みや外貨の獲得に本気で取り組み、リードしていくべきと考える。2031年までの8年間にその体制を整え、2032年から戦い続ける事ができる材料を確保しておきたい。</p> <p>【対策】</p> <p>第3章分野別施策3 - の「現状」にも記載されているとおり、平塚市総合公園内レモンガススタジアムにおいて、トップスポーツの試合が開催されていることは平塚市にとって大きな財産である。現在は、主にJリーグ設立初期から同リーグに所属するフットボールクラブの本拠地であることが全国的に知られており、平塚市のブランド力を全国に向けて発信する一助になっていることは疑念の余地がない。同クラブの歴史は他のJリーグ所属チームの中でも特に長く、その知名度、ブランド力は日本全国にわたる極めて高い水準のものとなっている。また、同クラブは中田英寿氏のように世界的知名度のある選手の輩出や、遠藤航選手といった世界最高のリーグで活躍する世界レベルの選手も育成組織から輩出しており、国際的な知名度も高まりつつある。昨今の日本人サッカー選手の欧州トップリーグでの活躍を見るに、日本国内にとどまらず世界を視野に入れたブランド展開を見込めるポテンシャルも有していると考えられる。なお、サッカーというスポーツは数あるスポーツの中でも特に世界的な市場規模が大きく、イングランド国内のプレミアリーグだけでも11億ユーロ、日本円にして1兆7000億円以上もの市場価値があるとされている。 (<a href="https://www.transfermarkt.jp/premier-league/marktwerteverein/wettbewerb/GB1">https://www.transfermarkt.jp/premier-league/marktwerteverein/wettbewerb/GB1</a>)</p> <p>平塚市総合公園内のレモンガススタジアムが、このようなトッププロスポーツクラブの本拠地として30年間で受けた恩恵は、観光資源の乏しい平塚市としては「知名度の向上」や「外貨の取り込み」という面から見ればなにもにも代え難い。今後もそれを「利用」し、更なる魅力へと繋げるべく、より魅力的で多機能的な「スタジアム建設」は有効な手段であると考え。新しいスタジアムでは、サッカーだけではなく、ラグビーやアメリカンフットボールといった他フィールド競技の試合会場としての誘致や、音楽コンサート会場としての流用(横浜市にある日産スタジアム等、成功例はいくつもある)、可能であればスタジアム外部にスケートボードやBMXといったXスポーツ競技が行える場を併設し、若年層の交流拠点として活用でき、更なる外貨の獲得を望むことが可能であり、若年層の流入及び定住が見込める材料となる。また、基本計画第2章重点戦略4(1)に示すとおり、今後必ず起こるであろう「巨大地震等の天災」に対する防災対策の強化にも有効であると考え。非常食等の備蓄場所、市民病院では対応しきれない傷病者の対応拠点は自治体として整備しておくべきであり大きな課題であるので、その面から見ても有効な手段である。</p> <p>いずれにせよ、今、平塚市が有する全国レベル、ひいては世界レベルのブランドを有効活用しながら、さらに魅力的かつ多機能的なスポーツスタジアムを擁することにより、平塚市自体のブランド力がさらに高められ、平塚が「住みたい街」と認められ若年層を中心とした人口増加につながるものであると考える。</p>	<p>本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。</p> <p>湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。</p> <p>いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。</p> <p>今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。</p>	参考
73	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	<p>老朽化した競技場や野球場について、市として改修や建て替えの方針を示して欲しいです。</p> <p>競技場についてはベルマーレ側からの提案もしっかり聞いた上で議論、検討をして頂きたい。</p> <p>自治体と競技場建設を進めたいのは補助金等が入る事が理由で、何も建設費の半額分をそのまま求めている訳ではないのに、現状は市長が頑なに拒んでいるように一市民には感じます。</p> <p>サッカーだけでなく、ラグビーや野外コンサートも開催できるスタジアムがあれば、平塚市を訪れる人も増えますし、宿泊や飲食の売り上げも増えると思います。それ以上に平塚市に住みたいと思う人が増えるはずで、間違ってもベルマーレのホームスタジアムが茅ヶ崎や藤沢に移転するような事態にはならないよう、よろしく願います。</p>	<p>本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。</p> <p>いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。</p> <p>今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。</p>	参考

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
74	p.74	<p>【基本計画】第3章「分野別施策」                      分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」</p>	<p>湘南ベルマーレの本拠地スタジアムの整備について、次期平塚市総合計画に盛り込むよう希望します。                      主に2点です。                      1 - スタジアム問題に係る(仮称)検討委員会の設置意志                      2 - 市の宝である湘南ベルマーレが平塚にあり続けるため、Jリーグ基準を満たすスタジアムを整備していく意志を盛り込んでいただくよう希望します。                      全自治体数が1,724と言われる中、サッカーのトップリーグであるJ1リーグには18チームしかありませんが、その一つが我が平塚にある幸せ、誇りは、当たり前存在するものではなく、積極的に守らなければ失いかねません。ベルマーレを失えば、「競輪と七夕の街・ひらつか」になります。                      それも結構なことではありますが、当たり前にあった試合時の歓声、フードパークの賑わいが消え失せ、ぽっかりと穴が空いたかのような総合公園に、市民の落胆、喪失感はいかばかりかと不安でいっぱいです。                      もちろん、使用料の減免など、多大な措置を講じていただいて来たことは多くの市民、サポーターも承知しており、感謝申し上げます。                      先の署名活動では5万筆超が集められました。市外、県外在住者の署名が多いのではないかと声があることを承知しております。                      しかし、全国の自治体が、昼間人口、関係人口を増やそうと躍起になってはいるものの、なかなか成果が出ていないのが現状です。                      その市外、県外の署名とは、平塚市にとってまさに関係人口の種であり、可能性のほうです。                      したがって、「平塚以外の署名」と軽んじ、切り捨てられることのないよう、切にお願い申し上げます。                      さて、スタジアム問題の核は屋根のカバー率ですが、現在の5%から1/3以上にすると必要があると語られてきました。しかし、鹿児島でも同様の状況にありますが、Jリーグスタジアム基準に「新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、原則として屋根はすべての観客席を覆うこと」という項目があり、レモンガススタジアムも抵触してしまいます。では、全面を覆う工事を行えばよいのかと言えば、試算上、新設費用を超えてしまいますし、改修では補助金も出ません。広島の新スタジアムは100億円規模の補助金が出ているはずですが。                      屋根の他にも、バリアフリーの不足(車いすでスタンドに行けない)、コンコースの面積(落雷時に観客を避難収容できない)、座席数(チケット売り上げの頭打ち、機会損失)、全体的な老朽化など、課題が多くあります。                      改修か新設か、それを議論するためにも検討委員会の設置が必要と考えます。                      ちなみに新スタジアム計画では、「メディアスタジアム」というコンセプトも持ち、ライブコンサートやイベントの開催を織り込んだ仕様とし、サッカー、アメフト、ラグビーといった球技以外でも最大限の利益が目指されており、新設費用は掛け捨てでなく投資であるという概念を裏打ちするものだろうと思います。</p> <p>&lt;その他の該当箇所&gt;</p> <p>重点戦略4(1)防災                      新スタジアムの場合、広域防災の拠点化、強靱化が期待できます。                      災害時、観客席の椅子が被災者を寝かせられたり、デリケートな処置に使えるよう個室も備えるとも聞いています。備蓄倉庫の充実と、インフラの強靱化は言わずもがなです。</p> <p>分野別施策1 子ども達に係る全般                      我が社も含めたベルマーレのスポンサー企業が、児童養護施設の子どもたちをホーム試合に招待など、子ども達に係る様々な企画を実行していますが、地元でプロスポーツがあることで、企画、実行が容易になっているのは間違いありません。</p> <p>分野別施策2 - 障がい福祉                      上述の通り、障がい者の方々もたやすくプロスポーツに触れられる機会を。</p> <p>分野別施策3 - 平和教育                      現在建設中の長崎スタジアムは、「ピース・スタジアム」と銘打っています。                      日本でも最大級の空襲を受けた我が市。まさに我々のスタジアムもピース・スタジアムとして、その歴史を代々語り継いでいく教育拠点となり得ます。</p> <p>以上、未来も、湘南エリアの中核市として平塚があり続けるため、言わば市の宝であるスタジアム整備について、次期平塚市総合計画に盛り込まれるようお願いしております。</p>	<p>本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。                      湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。                      いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。                      なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。                      今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。</p>	<p>参考</p>



(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
75	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	スポーツに限らず、ベルマーレを使ってもっといろいろなことに取り組んでいったらいいのではないかと考える。ベルマーレがあることでできることはたくさんあると思う。 そのためには老朽化がすすんだスタジアムを手直りするよりは新築したほうが安上がりなのではないか？2万人が年間約20日平塚市に来ると計算すると、地域振興にもなるし、新スタジアムができれば話題にもなると思うのだが。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
76	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	・現状として「トップスポーツの試合が開催されています」となっており、この中には湘南ベルマーレのサッカーJ1リーグの試合も含まれています。 ・取組方針には「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます。」と記載されている一方、課題についてはJ1リーグライセンス交付にあたり、観客席への屋根の面積が規定を満たしていない等の指摘を受けています。これについては平成27年3月に出された「ShonanBMWスタジアム平塚 改修検討会議報告書」で基準を満たす改修を進める要望が出され、計画が進められていることからJ1リーグからは制裁付きの暫定的なライセンス交付となっています。しかしながら総合計画(1次素案)の課題には、これについて記載がありませんので、現在置かれている状況についての記載を求めます。 また「ShonanBMWスタジアム平塚 改修検討会議報告書」では、スタジアムの新設についても触れられていますが、レモンガススタジアム平塚自体、開設から36年を迎え、平塚市では各所の修繕、改修の対応をしている一方、施設の老朽化が目立っていることより、今後、屋根の増設などの大規模な改修を行うためには多額の費用が掛かることが予想されます。今後も湘南ベルマーレがJ1リーグのライセンスを取得し、市民がトップチームの試合を観戦できるような環境を求めますが、この間、湘南ベルマーレによるスタジアム建設計画は平塚市に多額の負担を求める内容となっており、実現が難しいのが現状と考えます。そのため、取組方針へは平塚市、湘南ベルマーレおよび関係団体によりスタジアム問題を解決するために平塚市が中心となり協議会の設置をするなど対応の記載を求めます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 湘南ベルマーレから市と協議を続ける意向が示されていますので、まずは湘南ベルマーレとの間で、今後の方向性をどのように考えていくのかなどを協議していく考えです。	参考
77	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚に新スタジアムを作ってください ベルマーレのある日常を残してください 月に2～4回も万人規模の集客が見込める、キャパが増えたら三万人になるかもしれない、平塚を目指して沢山の人があつまるコンテンツを手放さないでください。 駅周辺や会場周辺はもとより、幹線道路にある飲食店や販売店での集客にも影響があります。 ベルマーレのある平塚に！ 新スタジアムを一緒に作りましょう。 サザンのライブで茅ヶ崎が話題になってましたが、新スタジアムができれば、ライブの話題だって平塚の独壇場になります。 近隣の方湘南地区から差別化され、平塚の価値が上がります。 そんな平塚のブランディングに新スタジアムとベルマーレを利用してください！	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
78	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	私はマンションに住んでおります。 新スタジアムは緊急時の拠点となると聞いています。 緊急時の拠点は、コロナのダイヤモンドプリンセスの例の様に、個室が必要と言われていました。 新スタジアムはその様な機能を持つと伺っています。 平塚市は拠点となる事を諦めているのでしょうか？ 市民としては、近くにその様な施設が出来る事は期待しかありません。 また私のマンションは高齢化が進んでいます。 マンション内で高齢者公助が進められています。 災害時に、マンションで一時退避、二時退避は近くの公園と決めています。 その後の高齢者の受け入れ先として新スタジアムであると安心です。 ぜひとも進めて頂きたい。 公費70億は大変な金額です。 自費だけでなく、各種の公的な支援(サッカー協会、国家機関、公益財団法人)は考慮されているのでしょうか？ 平塚の商店街は多くが閑散としています。 サッカーの試合の際、多くの対戦相手サポーターで商店街を利用している事、ご存知でしょうか？ これからの平塚市が安心して、商店街が栄え 利用出来る住みやすい街となる様期待しています。 ご検討の程よろしくお願い致します。	現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
79	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	湘南ベルマーレという日本でもトップレベルのサッカークラブが平塚にあることで、市の認知度並びにイメージアップ向上という貴重な価値をもたらしているのは疑いようのない事実である。 また、試合日には年間20万人以上の観客がスタジアムを訪れる事で市の経済を潤しているのも忘れてはならない。 しかし、このような貴重な存在であるにも関わらず、レモンガススタジアム平塚の設備不足と老朽化によって快適な観戦状況とはとても言えず、観戦者は長年我慢をしている。 今回、ベルマーレ側が提案した新スタジアム建設計画はベルマーレのためだけではなく、平塚の街づくりにおけるランドマークになりうる提案である。 当然ながら一大プロジェクトであるため、巨額な費用がかかるのは承知している。市もただ「お金がない」と言うばかりではなく、「どうしたらお金が集められるか」の mindset を持って、絶対に計画を成功させて、他市への移転を阻止していただきたい。 熱しくくて、冷めやすい。 平塚に生まれて育って約半世紀の私が感じた平塚市民の気質です。 その気質を変えたのがベルマーレの存在です。 ベルマーレは市の宝です。 だけど、市はこの宝を易々と他市へ渡そうとしています。 どうぞ平塚の将来のために新スタジアムの計画を推進いただくよう切望します。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
80	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚市の発展、スポーツとの関わりにおいて湘南ベルマーレの専用スタジアムの建設を推奨します。 湘南ベルマーレの試合があることにより、マスコミ等に平塚が取り上げられ、認知が広がっていますし、スタジアムに人が集まることにより、経済効果も生まれています。 新スタジアムは防災拠点としても大きな役割を果たし、平塚および近隣市民の災害時の拠り所となり、またその存在は全国にアピール出来るものだと思います。 市の負担金について懸念があるようですが、補助金などの活用により軽減されるものと思います。 スタジアムが他市へ移転することは大きな損失となり、平塚市への失望となります。 湘南ベルマーレのスタジアム建設を今後の計画に盛り込んでいただければ幸いです。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
81	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	平塚市には、Jリーグのトップカテゴリーに所属しているクラブがありますが、Jリーグにはクラブライセンス制度があり、現在のスタジアムでは、トップカテゴリーの基準が満たされておられません。 将来的には、ライセンスはく奪もあり得ますので、基準を満たしたスタジアム建設を望みます。 スタジアム建設には、もちろん、お金がかかりますし、建設後、Jリーグ開催だけでは、お金がかかるハコモノです。 現在、スポーツは、お金を生む産業になっています。 平塚市にスポーツイベントを開催出来るスタジアムを作るとともにスポーツコミッション(SC)を作り、様々なエンターテインメントと体験を求める観光客に来てもらい、平塚市に在住、在勤、在学している人とうまく調和し、賑やかな平塚市になってほしいです。 平塚市には七夕祭りなどの数日間のイベントはありますが、年間を通して、ニュースになったり、地上波、BSの中継なるようなイベントは、Jリーグぐらいしかありません。生まれてから、平塚市に在住している者としては、スタジアム建設を切に望みます。 スポーツコミッション(SC) スポーツ大会の誘致や開催支援を通じて観光や交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化などを目指す組織。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
82	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	サクラ書店の高村店では、地元のプロスポーツクラブ「湘南ベルマーレ」を応援し、ベルマーレにまつわるコンテンツを丁寧にフォローしてきました。また、湘南ベルマーレの雑誌「ベルマガ」を作り上げるまでに至りました。 昨今の出版不況において、数百を超える冊数が平塚市内で消費されるコンテンツに育ちました。 平塚市が湘南ベルマーレを失う事となった場合、これらのような貴重な取り組みが無に帰してしまう非常に由々しき事態です。 ベルマーレ平塚として平塚の名前を全国に知られる存在にし、湘南ベルマーレになってから時間をかけようやくJ1定着といえる状況に成長しました。より、湘南平塚に多くのサポーターがサッカーというイベントを楽しみに訪れる。 そうした好循環をぜひ維持してほしいと思います。 ライセンス制度に変化の兆しがみられる今だからこそ、補助金を得られるスタジアム新設を推進し、より湘南ベルマーレを愛する市民が増える未来を作り上げてほしいと考えます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
83	p.74	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」	当市の財産である平塚市総合公園のレモンガスタジアムは、湘南ベルマーレがホームスタジアムとすることでプロスポーツの試合を身近で観戦できております。これは、本市の魅力であり、個性であり、誇りであります。そして、これまでも平塚市の知名度アップや経済効果、スポーツ振興など多様な面でまちづくりにおいて重要な存在であります。プロスポーツが存続するスタジアムとして、行政におきましては、施設の改修による対応など多大な支援をいただいております。現在、将来のまちづくりにおいてスタジアム施設の在り方を考える時期を迎えておりますが、行政の積極的な関与が不可欠であり、湘南ベルマーレをはじめ各種スポーツ団体や市民・サポーター、関係する団体などによる検討する場づくりにご協力をお願いします。また、スタジアムの在り方を検討することをまちづくりの重要な施策として次期総合計画に盛り込んでいただきたくお願いを申し上げます。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点での考え方として、新スタジアムに関しては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
84	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	大神の再開発になんの可能性も感じない。	本市では、東海道新幹線新駅誘致による神奈川県南のゲートとして計画されているツインシティの一翼を担うツインシティ大神地区を、上位計画である「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン(第2次)」に将来都市構造の北の核として位置づけ、まちづくりを推進しています。現在、ツインシティ大神地区では、地区内の道路や公園などの都市基盤整備が進む中、物流施設が順次開業し、今年の春には地区の賑わいの核となる大型商業施設が開業するなどまちの形成が着実に進んでいます。現状を踏まえ、新しい総合計画でも、ツインシティに関しては、分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」において「土地区画整理組合などとの連携による、環境に配慮した住宅街区の整備を進めます」、「(仮称)ツインシティ橋や道路2軸の整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組めます」と記載していますが、今後も、神奈川県や土地区画整理組合などと連携し交通の拠点としての価値や環境共生都市としての価値を高めることにより、さらなるまちの成長を目指していきます。	参考
85	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	JT跡地にまたホームセンター作るうとするのも理解に苦しむショッピングモールばかり作っても食い合って終わりなだけだと思ふ。	JT跡地の土地利用については、指定されている用途地域での建築物の用途制限の範囲内で民間事業による個別の開発行為が行われており、その中で、ホームセンターは認められる範囲となっています。	参考
86	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	ツインシティ計画について、そもそも、特に寒川との連携が重要と見受けられるが寒川町側のレスポンスなしにツインシティを名乗る、いわゆる「湘南市計画」時代の傲慢さの名残に見える。 あくまで名称としての使用としても、そもそもツインシティとは他都市との協力を前提とした名前と記憶しているが大神地区の隣接する厚木、寒川は交通要所としての名前こそあれ相互発展や相互利用の可能性や重要性に触れておらず、平塚市の想定するような整備を他都市が行うという希望的観測に基づいているように見える。 またアウトレット近辺の新設コンクリートが雨天後に水を弾いて反射ラインが見えない、バス停が他の施設に比べ遠いため免許のない人や高齢者からの不満の声があるなど利用していればわかる細かい不満点などが開業後半年以上経っても解消されておらず、計画そのものを続けた時に状態の確認や観察をつぶさに行うことができるか疑問が大きい。 明らかな来場者の目減りが129側から観察していて感じられ、こう言った核地域の「核となる施設」が今後さらにジリ貧に陥った時の対策がない。 運営や管理を民間に任せただけでなく、市の肝入り事業とばかりに打ち上げたのなら不断の交渉と努力は市民の求めるところであるところを理解するべきで、それが現状できていないのにさらに広げ、他都市も「協力するだろう」という甘い見通しを感じる。 まずは寒川町との連携についての議論と結論を導き、発表して欲しい。	ツインシティとは、東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と相模川を挟んだ平塚市大神地区を新しい橋で結び、川の東西両地区を一体としたまちづくりとして神奈川県及び神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が計画しているものです。本市では、東海道新幹線新駅による神奈川県南のゲートとして計画されているツインシティの一翼を担うツインシティ大神地区を、上位計画である「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン(第2次)」に将来都市構造の北の核として位置づけ、まちづくりを推進しています。現在、ツインシティ大神地区では、地区内の道路や公園などの都市基盤整備が進む中、物流施設が順次開業し、今年の春には地区の賑わいの核となる大型商業施設が開業するなどまちの形成が着実に進んでいます。現状を踏まえ、新しい総合計画でも、ツインシティに関しては、分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」において「土地区画整理組合などとの連携による、環境に配慮した住宅街区の整備を進めます」、「(仮称)ツインシティ橋や道路2軸の整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組めます」と記載していますが、今後も、神奈川県や土地区画整理組合などと連携し交通の拠点としての価値や環境共生都市としての価値を高めることにより、さらなるまちの成長を目指していきます。 一方、寒川町では新幹線新駅誘致地区を中心とした約63haの面整備検討区域のうち、新駅を誘致するために約24haのエリアを先行検討する新駅周辺整備検討区域に位置づけ、新駅の交通広場やアクセス道路の配置案、土地利用ゾーニングのたたき台を提案しながら、まちづくりの合意形成に向けて地元の方々を取り組んでいるとのこと。昨年度については、地元協議会での説明や地域の方々に対して説明会を実施し、また、今年度についても、7月から8月にかけて、地域の方々に対して、説明会を実施したと同っています。本市としては、引き続きツインシティ大神地区のまちづくりを着実に進めるとともに、神奈川県や寒川町と連携を図り、ツインシティの全体計画の実現に向け取り組んでいきたいと考えています。	参考

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)に係る意見及び意見への対応(案)

別紙

No.	ページ	該当箇所	意見等	市の考え方(案)	対応区分(案)
87	p.82	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	北の核とおっしゃっていたが立地や店舗のラインナップ全てにおいて中途半端。 何年か後にはOSCと同じ末路を辿る。	本市では、東海道新幹線新駅誘致による神奈川県の南のゲートとして計画されているツインシティの一翼を担うツインシティ大神地区を、上位計画である「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン(第2次)」に将来都市構造の北の核として位置づけ、まちづくりを推進しています。現在、ツインシティ大神地区では、地区内の道路や公園などの都市基盤整備が進む中、物流施設が順次開業し、今年の春には地区の賑わいの核となる大型商業施設が開業するなどまちの形成が着実に進んでいます。現状を踏まえ、新しい総合計画でも、ツインシティに関しては、分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」において「土地区画整理組合などとの連携による、環境に配慮した住宅街区の整備を進めます」、「(仮称)ツインシティ橋や道路2軸の整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組みます」と記載していますが、今後も、神奈川県や土地区画整理組合などと連携し交通の拠点としての価値や環境共生都市としての価値を高めることにより、さらなるまちの成長を目指していきます。	参考
88	p.83	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	p.83に以下(下線部分)のとおり追加記載することを提案いたします。 取組方針 平塚駅周辺地区等において、自立分散型面的エネルギーシステムの導入を検討します。	基本計画は基本的な方向性をとりまとめており、具体的な内容は、個別計画や実施計画で進めることになります。 いただいた御意見は、具体的な場所と手段をお示しいただいておりますので、個別計画や実施計画を進める上で、参考にさせていただきます。御意見以外にも、エネルギー利用・技術、防災力の向上など、多くの参考資料や情報提供をいただきました。ありがとうございました。こちら、事業を進める上で参考にさせていただきます。	参考
89	p.83	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「まちづくりの拠点形成を推進する」	成果指標に「神大跡地の構想づくりのための検討会開催件数」を入れるべき。	神奈川大学湘南ひらつかキャンパスの跡地については、大学が主催する跡地利活用協議会において、令和5年8月に、目指すべき利活用の方向性などがまとめられました。進め方や手続などは、今後、大学と協議していくことになります。 施策効果を測る上で適切である場合には、ご意見の指標を参考にさせていただきます。	参考
90	p.89	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策4 - 「花とみどりにあふれる環境を充実する」	成果指標に「公園設置の遊具・トイレなどの修繕件数」を入れるべき。	御意見の遊具・トイレなどの修繕は、市職員や業者による安全点検や市民からの連絡等により、施設の状況を把握し、優先順位を付け適切な修繕や施設の更新を行っています。 一方で、公園の利用者やニーズの変化などにより、さまざまな公園の目的や特徴等を踏まえて遊具・トイレなどは修繕以外の対応となることもあることから、施策効果を測る指標にはなじまないと考えます。	参考
91	p.93	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「農業・漁業を振興する」	成果指標に「ライスセンターの取組」を入れるべき。	受託組織であるライスセンターの取組を現す指標として、受託面積が考えられます。受託面積は、ライスセンターの経営状況を示す指標と言えますが、一方で、農業経営体の減少などを示すことにもなり、成果指標になじまないと考えます。 御意見の主旨を踏まえ、取組方針を「多様な担い手を確保・育成」とし、ライスセンターを含めた担い手人材の確保と育成に取り組んでいきます。	参考
92	p.96	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	平塚駅周辺地区の活性化を担う団体や商店街団体の活動支援とありますが、仮に現在ベルマーレのスタジアム問題(Jの基準を外れている箇所がある)で改修なり、新スタジアムなりに対して、積極的な姿勢が見られず年に二十数回ある、平塚市以外(近隣ならびに遠方から)の観客が訪れる事による経済効果、地域活性化等が仮にベルマーレのホームスタジアムが他の近隣市町に移転した際の損失を真剣に考えた方が良いかと思う。(実際に千葉の市原市はスタジアムが千葉市に移転してどうなったかを調査しているのでしょうか?) ベルマーレの観戦目的で平塚に来られる方は近隣都市の方に至っては、試合が無ければ平塚には来ない(平塚以外で買い物、飲食が済む)と言う話をよく聞きます。 また、地方チーム(北海道、九州、関西等)の応援で平塚に来られる方は、試合と同時に平塚での宿泊や観光等で多大なる経済効果が得られているはずだと思う また、サッカー専用スタジアムでは、サッカー試合以外にコンサート等が出来るとなれば、同様にコンサートに訪れる観光客で経済効果が生まれ、平塚駅周辺の活性化にもつながると思われるが 七夕まつりは大きなイベントで、否定するつもりは無いが開催日数も減り、年1回では経済効果も少なくそれよりも規模は多少小さくとも、コンサートやサッカーで回数が多い方が活性化に繋がると思うが	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 湘南ベルマーレに関しては、分野別施策3 - 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」において「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援するとともに、トップスポーツと交流する場を設けて、幼少期からスポーツに触れ、楽しむ機会を充実させます」と記載しています。 いただいた御意見は、個別・具体的な内容となっていることから、分野別施策に記載した方向性のもと、具体的な事業を進める上で参考とさせていただきます。 なお、現時点の考え方として、新スタジアムについては、建設場所の問題や市の財政状況も含めて課題があり、実現するためのハードルが高いということは、これまで市議会等で説明してきたとおりです。湘南ベルマーレなどが主体となり、民間の資金で総合公園以外に造るのであれば、協力していく考えです。 今後の方向性をどのように考えていくのか、湘南ベルマーレとの協議の中で、検討していく考えです。	参考
93	p.97	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「商業・観光を振興する」	取組方針に「商店街に来た人が歩いて買い物しやすいようベンチを設置する」を追加すべき。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 取組「方針」を記載することで、個別・特定的手段にとらわれず、課題解決に向けた取組を議論・検討することができると思えます。 なお、御意見の内容は、事業を進める上で参考にさせていただきます。	参考
94	p.99	【基本計画】第3章「分野別施策」 分野別施策5 - 「雇用の確保、多様な働き方を促進する」	取組方針に「事業主や勤労者の労働問題などに対する知識・理解を深めます」とあるが、より具体的に「事業主や勤労者の労働問題などに対する相談窓口の周知と充実」を追記すべき。	本市の総合計画は、市政運営を総合的、計画的に進めていくための基本となる最上位の計画となっているため、個別・具体的な事案については、各事業所管課の個別計画や実施計画事業において取り組んでいくこととなります。 取組「方針」を記載することで、個別・特定的手段にとらわれず、課題解決に向けた取組を議論・検討することができると思えます。 なお、御意見の内容は、事業を進める上で参考にさせていただきます。	参考